

希望・勇気・忍耐

第5号 令和4年9月1日 担当: 外山 恭平

【9月（長月）行事予定】 月訓『礼儀』

1	木	第2学期始業式・月訓『礼儀』、身だしなみ指導（全体）	16	金	就職採用試験開始（3年生）
2	金	課題試験、学習支援教室開始（～11月25日（金）まで）	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	敬老の日
5	月	課題試験、身だしなみ指導（再）	20	火	月曜日授業、全校朝礼・月訓『積極進取』
6	火	執行部合同会 15:50	21	水	
7	水		22	木	
8	木		23	金	秋分の日
9	金		24	土	
10	土		25	日	全商情報処理検定試験
11	日		26	月	文化祭振休
12	月	学年朝礼、チャレンジ0週	27	火	
13	火	常任委員会 15:50～	28	水	
14	水		29	木	
15	木		30	金	文化祭①

【2学期を迎えるにあたって】

9月16日は就職採用試験解禁日です。例年高校就職希望者にとって節目となる日ですが、皆さんは目標を持って過ごすことができているでしょうか？

7月には進路別ガイダンスを実施し、夏休み中にはインターンシップへ出向き職業と自分の関わり方について考えた人もいたと思います。

高校就職を予定していない人もいるかもしれませんが、進学した後にも、いつかは『働く自分』を意識することでしょう。（将来自分が身につけるべき力・考え方を得るために進学をするはず）

今回の学年通信では先日行われた進路ガイダンスの中から仕事を通じて個人・会社がどのように関わっているのか、お話を振り返りつつ、改めて皆さんがより充実した学校生活へ向けて取り組む様にして欲しいと思います。

【①仕事のやりがいについて】

- ・作った製品が実際に利用されている場面を見ることができたとき
- ・苦労したり調査をすることによって（より良い）成果を得ることができたとき
- ・相手に寄り添った仕事ができるとき
- ・自分らしさを出して職場の業務環境を改善することができたとき



→学校生活と同じように、毎日の仕事の中でも達成感を持つことでより意欲が湧き、その経験は日々の活力となると思います。すべての人が、そして毎日のようにやりがいを持ったり、実感できることはなくても、自分が真剣に選んだ進路、思い入れを持って取り組んだことはすぐに結果が出なくても、つらいことがあったとしても簡単に辞めようとは考えないでしょう。

どのようなことだったら自分は人よりも頑張れるのか、つらいことでも乗り越えられるのか。進路選びで忘れず意識して欲しいことだと考えます。

【②仕事の大変さ・厳しさについて】

- 命や安全に関わるため、責任を持って業務に就くように心掛けている。
- 知識と技術が必要で、状況は常に変化をしているため、判断をして業務に取り組んでいる。
- 決められた時間内で業務に当たらなくてはならないため、業務内で優先順位をつけて取り組んでいる。
- 製品を構成する部品はひとつ多くても、ひとつでも傷があっても不良となってしまう。自らの曖昧な仕事や発言から他の人の残業を発生させ、プライベートの時間を奪ってしまった経験があったため、仕事では『自分のプライドを満たす』だけではなく他の人のためにより良い物を責任持って提供できるようにしている。

→仕事として選択した業界にもよるかもしれませんが、どの業界でも自分だけの都合で物事は進まない。他人との関わり合いの中で責任感を持って取り組んだ仕事だからこそ、他人から認められるし、その結果としてプロの行ったサービスや製品としての『商品価値』を認めていただきその対価としてお金をいただくことができる。自分の取り組んでいることは正しいかな、より良くすることはできるかな、反省の先に改善があり、成長がある。そういった目線を持つことができるか、日々の生活でも意識したいですね。



【③高校時代に役に立ったこと・高校生へのメッセージについて】

- 今やっていることはすべて役に立っていくはずだ。授業でやったことだけではなく、頑張ったことできることは一生懸命に取り組んで欲しい。また、会社では多くの人とともに何かを成し遂げる。一緒に遊べる仲間を大切にしてお過ごし欲しい。
- 高校時代を振り返ると多くの友人の顔が目につく。その友人とは50歳を過ぎてからともにランニングをするようになった。友人との付き合いから学ぶことも多いので交流を続けられるように心掛けて欲しい。また、苦勞があっても一生懸命に取り組んだことは自分の自信となったので、自分に与えられた役割を果たすことができるようになって欲しい。
- 『がしんしょうたん臥薪嘗胆』という言葉がある。目標を達成するために苦心して努力をして欲しい。また、今の高校生活を大切に、後悔のないようにチャレンジをすることで自らの限界を知ることができ、のちの『人としての幅』へと繋がる。ぜひ自分の人生を楽しんで欲しい。その中で人間関係を楽しめば良いと思う。



→自分のやれないことをできるようになるうれしさはスポーツも勉強も、そして趣味も仕事も同じだと思います。日々の成長がその人の輝きや魅力にもなり、そういったバイタリティを持った人を社会が求めている、そんなメッセージをいただいたのではないのでしょうか。いただいた言葉を大切に、二学期皆さんがより充実した学校生活を送ってくださることを願います。

【青春は密】

甲子園で優勝した仙台育英高校の須江航監督のインタビューでの名言です。コロナで様々な制約を受けている高校生へのエールでした。「密」という言葉はここ最近、してはいけないという負の意味で使用されることが多かったですが、自分も含めて高校時代は本当に密だったよな、と思い返されます。下関国際高校も同様に困難があっても諦めずに目標を目指す姿に感動しました。次は君たちの番です。新人戦からの活躍を期待しています。